

調和体を書く(5)

締切り 五月二十五日(必着)

掘りたてのタケノコ
と食べると土の
においがする
吉川英治

奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいりましょう。

〔読み〕

掘りたてのタケノコを食べると土のにおいがする

吉川英治

〔解説〕

- ①可読性を大切に。
- ②変体仮名・連綿はなるべく控える。
- ③構成を工夫してみよう。

※「○○書」はご自分の名をお書き下さい。印のない方は、配置・サイズを考え、赤ペンで書き入れて下さい。

一般部規定課題

締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

〔解説〕

〔読み〕 自分自身の 身体と精神に対して 誰かが支配者だ

「同字変化」
 自分自身の 身体と精神に対して 誰かが支配者だ

◎今月は草書体。「実画と虚画」の最も簡略化した文字です。動きのある暢達な線を習う為に、書く前の準備として強弱、緩急、太細の線を色々引いて練習するのも一方法。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

自分自身の 身体と精神に対して 誰かが支配者だ

おか だ りゅう ほう 書
 岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

くさり

鎖

強

弱

わ

環

決

環	い	鎖
で	ち	の
決	ば	強
ま	ん	さ
る	弱	は
	い	

おお たに せい じょう 書
 大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

★鎖の…（書体＝楷書）

G・K・チェスタトン（二六四～二六五）
 英国の作家・詩人

「こうならなくてよかった」と思えた時に初めて、人は物事が現にこうあることの意味を悟ります。「理想」にかまけていると物事はよく見えません。自己の不足を思い知る「謙遜」こそが眼を開くのであって、その時に人は弱い環の存在に気付くでしょう。

◆6月課題予告（行書）

人道は

一日怠れば

たちまち廢れる

★自分…（書体＝行草または草書）

J・S・ミル（一八〇六～一八七三）

英国の功利主義哲学者

自分自身の身体と心に対して、人はみな主権を持っているとJ・S・ミルは言っています。

人間は誰もが幸福を求めています。幸福になるためには自分自身の身体と心を自らの意志によってコントロール出来るように努める事が大切でしょう。

◆6月課題予告（楷書）

我が身

愚鈍なればとて
 卑下する事勿れ

▼教範・書範＝行草または草書

▼師範＝行書

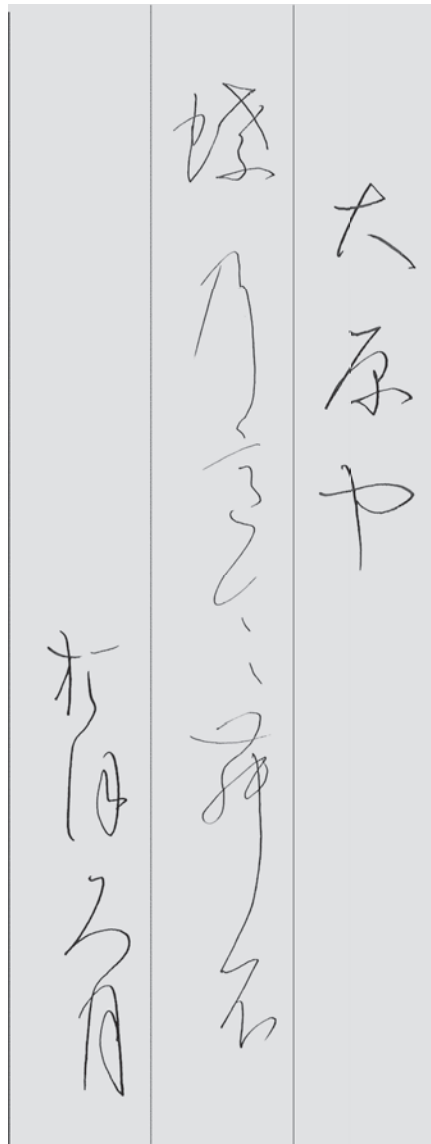
一般部かな課題

締切り 5月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

大原や蝶の出で舞ふ朧月

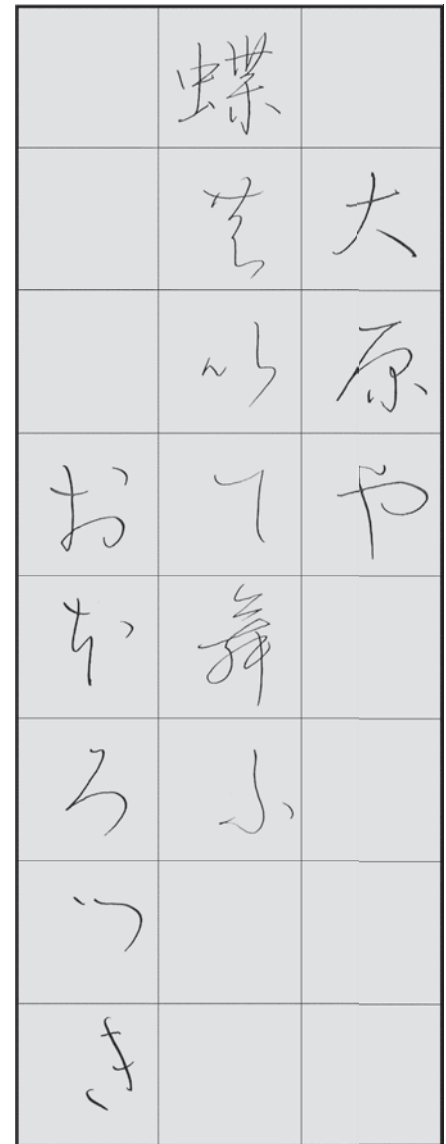


た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

大原や蝶の出で舞ふ朧月



た なか き こう 書
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

大原や蝶の出で舞ふ朧月

(内藤丈草)

【句解】大原の里を夜追遙している
と、朧月夜のほの明かりの中を、白い
蝶が浮かれ舞っていた。

【鑑賞】作者は、〈大原や〉と強く打ち出して建礼門院の悲話や平家物語の世界を想起している。その悲話の綴られた風土に発見された〈蝶〉は、〈朧月〉に浮かれ、果たせなかった夢を追っているのかもしれない。

【古筆参考】

農の 若草 若草
意い うーききき
天て ろーきき
於お 於 於
本ほ 本 本

【解説】「大」の三画目の「ㇿ」は、ペンを軽く入れて途中で筆圧をかけ、最後に筆圧を軽く抜いて、次の字の方へはらう。

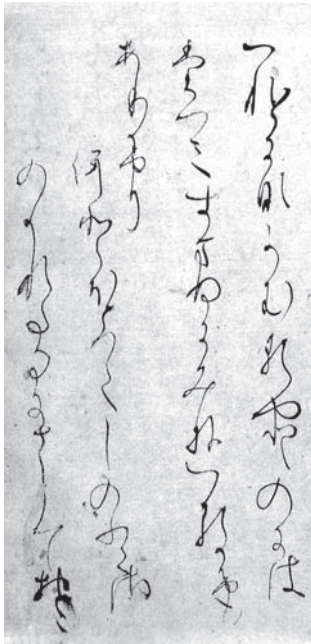
◆6月課題予告

時鳥鳴くや湖水のささ濁り

(内藤丈草)

〔古筆参考〕

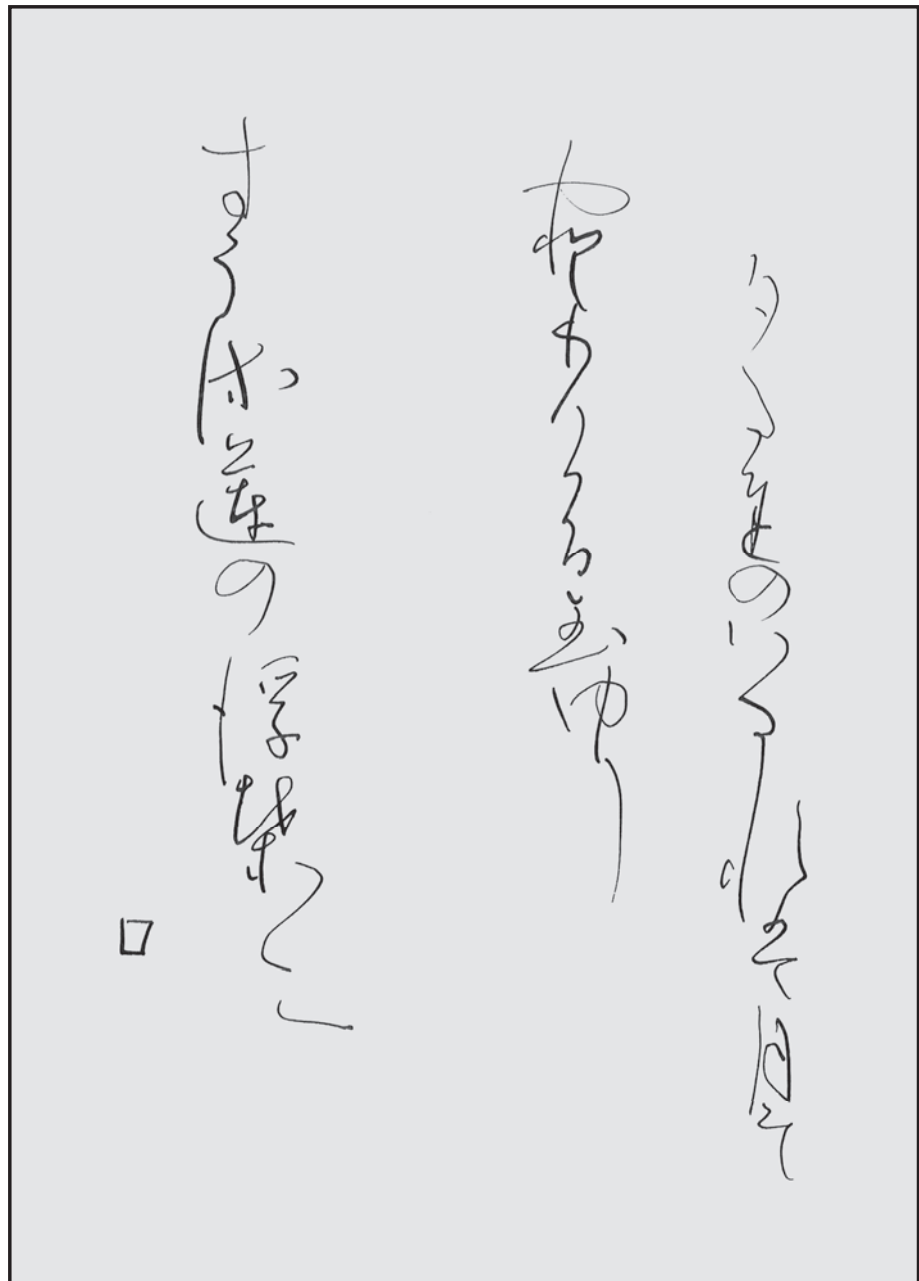
いち じょう せつ しょうしゅう
一条 摂政 集



つれづれにながむるやどのには
たづみすまぬにみゆるかげも
ありけり
いとほどへて、しのぶぐさ
のかれたるにさして、おとし

締切り 五月二十五日（必着）

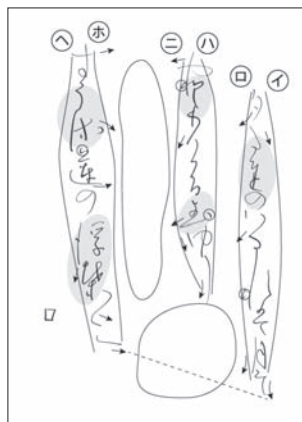
築瀬舟香書



夕立の晴るれば月ぞ宿りける
玉ゆり据うる蓮の浮葉に

〔歌意〕夕立が晴れると、水に浮かんでいる蓮の葉が、その上に置いた雨滴の玉をゆらゆら揺り動かし、月がその玉に宿っているよ。

〔出典〕山家集（新潮日本古典集成）
〔解説〕



- ・①と②、①と③、①と④、②と③、②と④、③と④、それぞれ呼応。
- ・②と③の間、③と④の間それぞれ余白を大切に。
- ・密の部分、行の中、そしてその動き大切。
- ・指向性、①点の位置大切。

◆6月課題予告

山里はそとものまぐさ葉をしげみ
裏吹きかへす秋を待つかな

締切り 5月25日(必着)

父の勧めで新聞社社長の講演会に参加しました。テーマは「日本と英国の教育の違い」。興味深いお話ばかりで、あっという間の二時間でした。元記者の取材力は流石でしたし、起承転結も見事でした。

父の勧めで新聞社社長の講演会に参加しました。テーマは「日本と英国の教育の違い」。興味深いお話ばかりで、あっという間の二時間でした。元記者の取材力は流石でしたし、起承転結も見事でした。

※手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

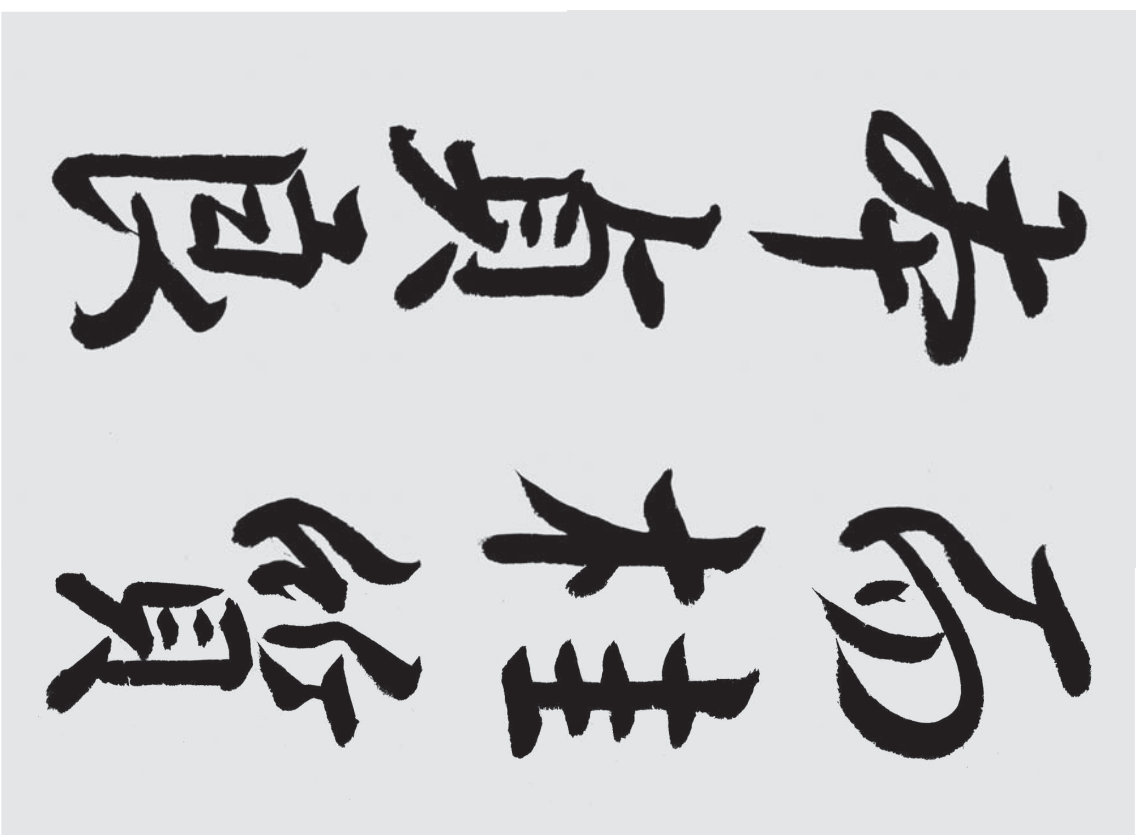
赤十字の創始者J.H.デュナンは
第1回のノーベル平和賞を受けた。

滋賀県彦根市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

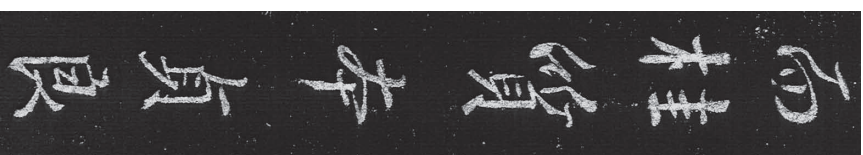
締切り 5月25日(必着)



【出典】集字聖教序（672） 【筆者】王羲之法書より集字
 【読み】桂の質の本より貞しきには（非ず。）良に



【読み】高きに登り思うところ有り
 【大意】高い山に登ると広い眺望から色々と考えさせられる。



而 桂 質 本 貞 良

準初段から師範まで

奥村暢之 臨

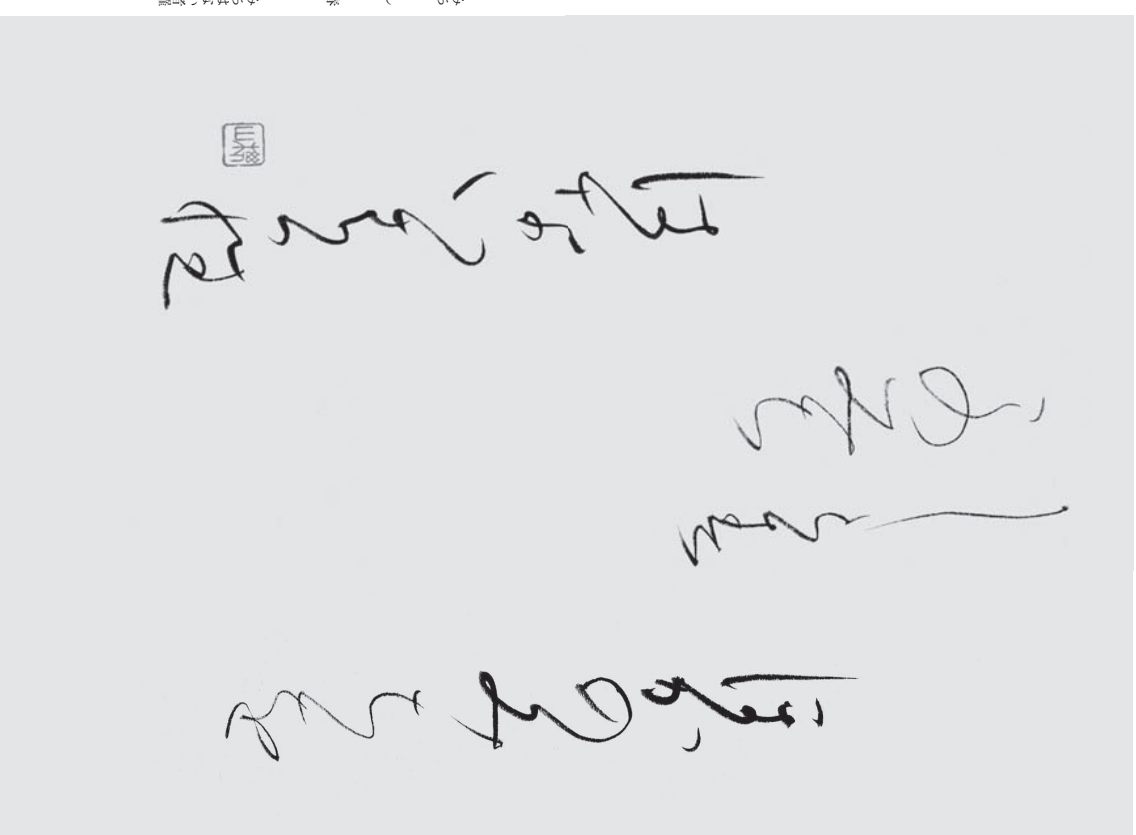
新入から1級まで（楷書）

須田一葉 書

一般部毛筆かな課題

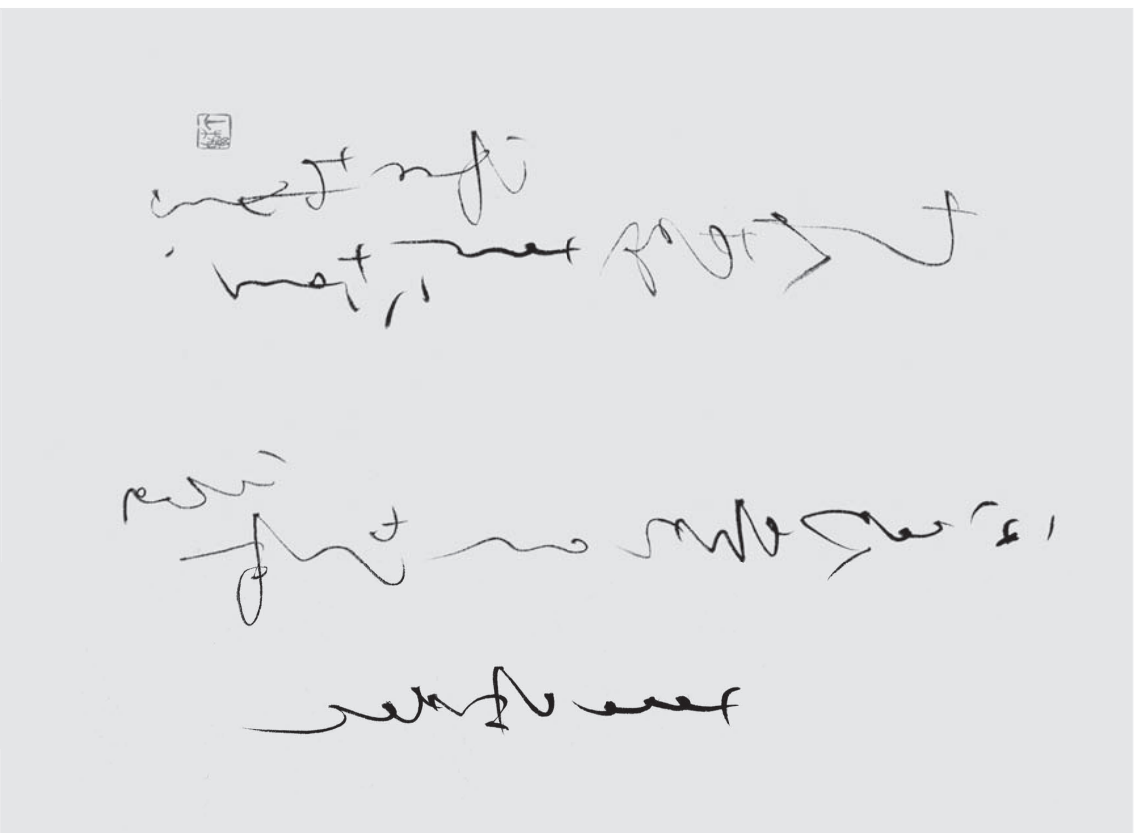
締切り 5月25日(必着)

新入から1級まで



浅井 機山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

ほかの道を知らずこの道花茨

菅裸馬

【出典】

いつも散歩の折、決まってたどる道はいま野ばらの花が美しい。
好んでこの道を通り、他の道を知ろうともしない。

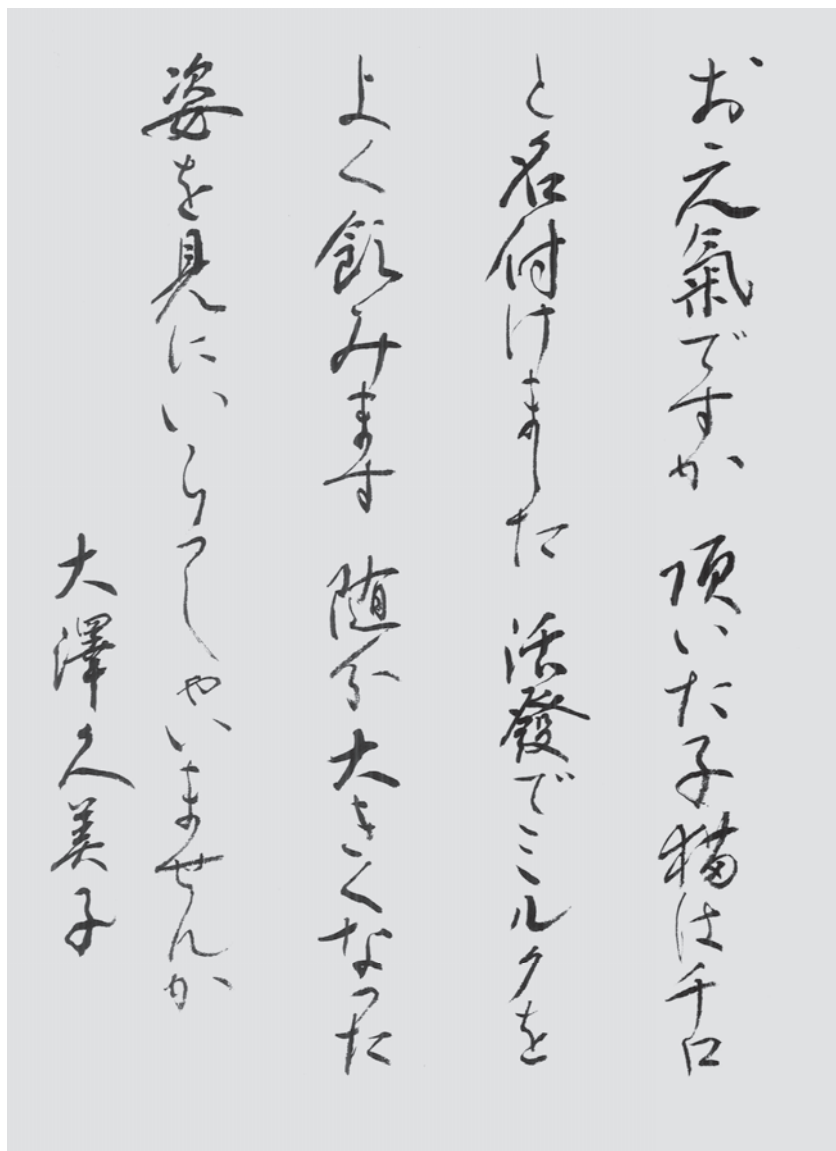
文可奈 樹に風鳴り 樹に太陽は近くかがやけり
きル ひ 文 文 文
われ青き樹にならばやとおもふ

【出典】 前田夕暮

【歌意】 樹にさわやかに風は鳴り、樹に近々と太陽は輝いている。それ
を見ると、私は青々と茂った樹になりたいなと思う。

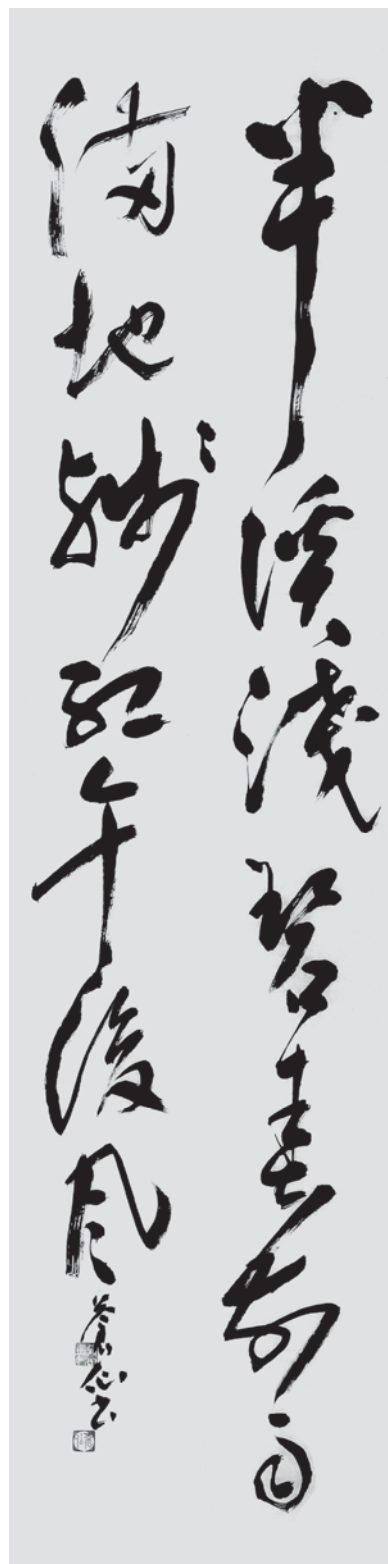
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 五月二十五日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

萩 田 蒼 仙 書

〔大意〕谷川半分を流れる浅みどりの水は雪まだ残る春前の雨、地上一面の落花は春過ぎた午後の風に落ちる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔条幅解説〕筆を軽く握って余計な力を抜き、穂先に集中して書いて下さい。墨は少し滲むかなと思うくらいの含墨で。
※お詫びと訂正 四月号条幅課題で「すでに」の活字が「己」となっていました。正しくは「巳」です。お詫びして訂正いたします。

お元氣ですか 頂いた子猫は千口と名付けました 活発でミルクをよく飲みます 随分大きくなりました 姿を見にいってやいませんか

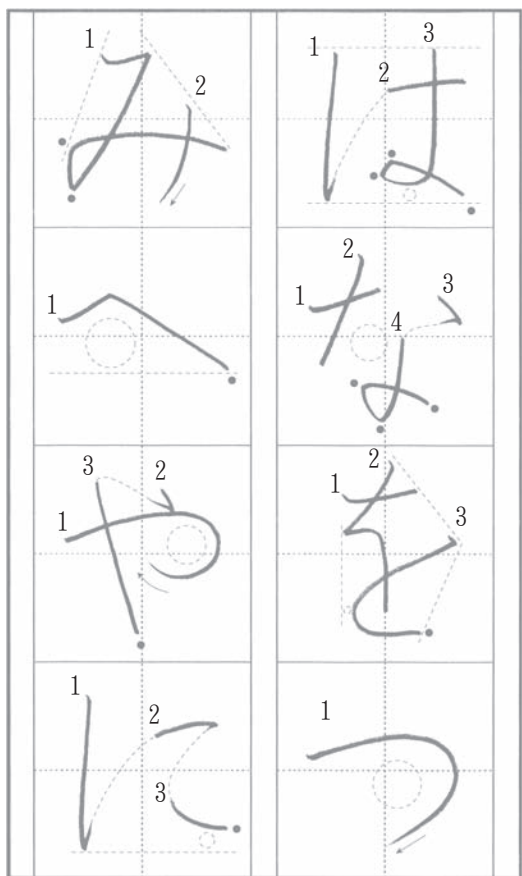
(自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

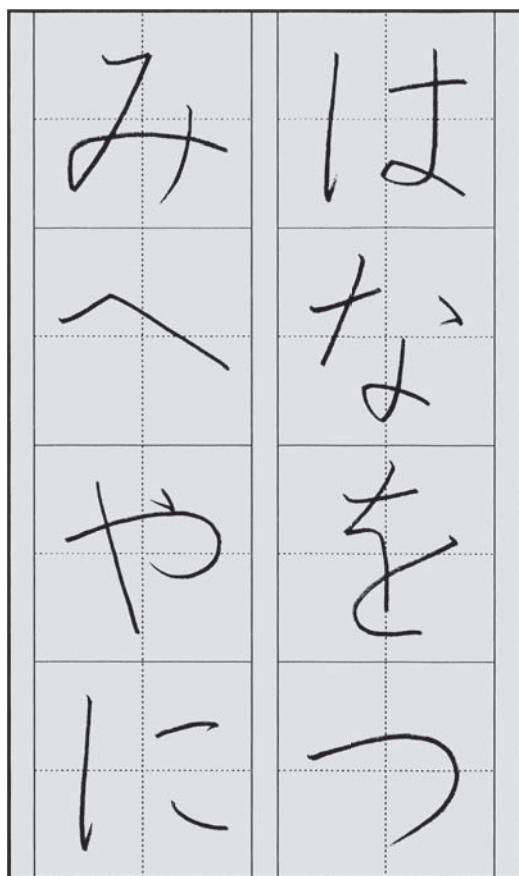
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



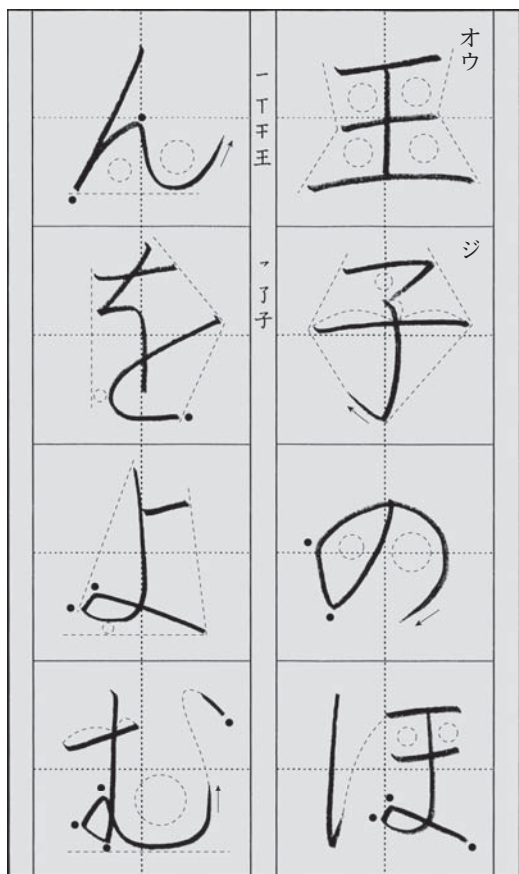
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



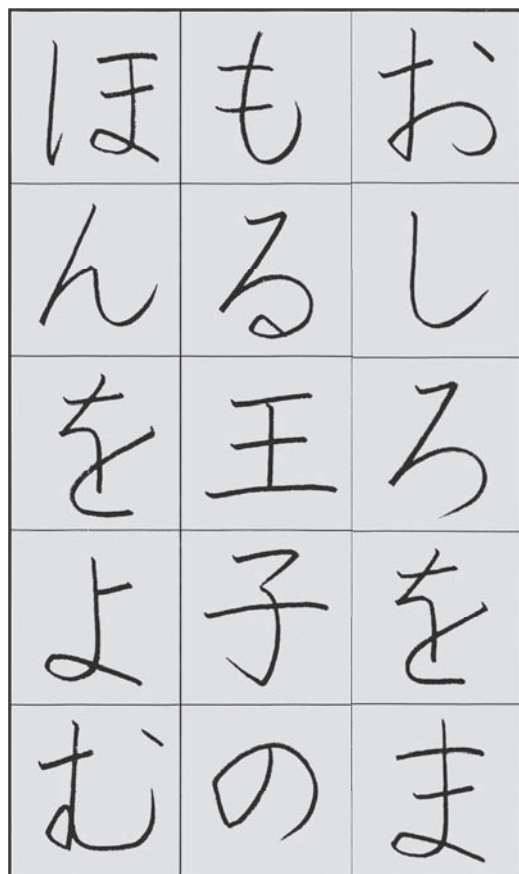
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

さ	一ナ大	大	おお
な	ハナハ空空空	空	ぞら
雲	くも	に	
が	リリ小	小	ちい

新入1級

う	な	大
か	雲	空
ん	が	に
で	一	小
る	つ	さ

小二年
準初段以上

つ	一山山	山	やま
り	一山甲里里	里	さと
住	す	へ	
む		う	

新入1級

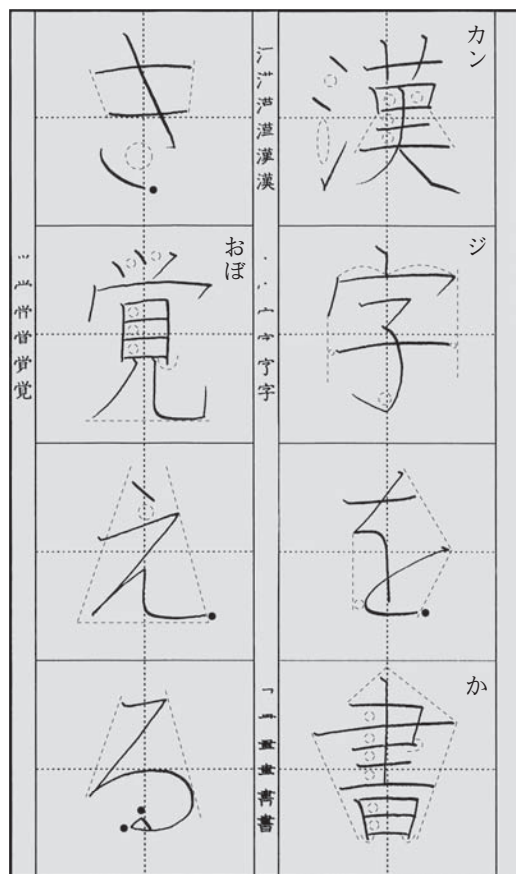
う	か	家
つ	ら	族
り	山	で
住	里	都
む	へ	会

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

*用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬^{かた}くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。

*六月締切り分までは、この方法が続けます。

*ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。

*七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

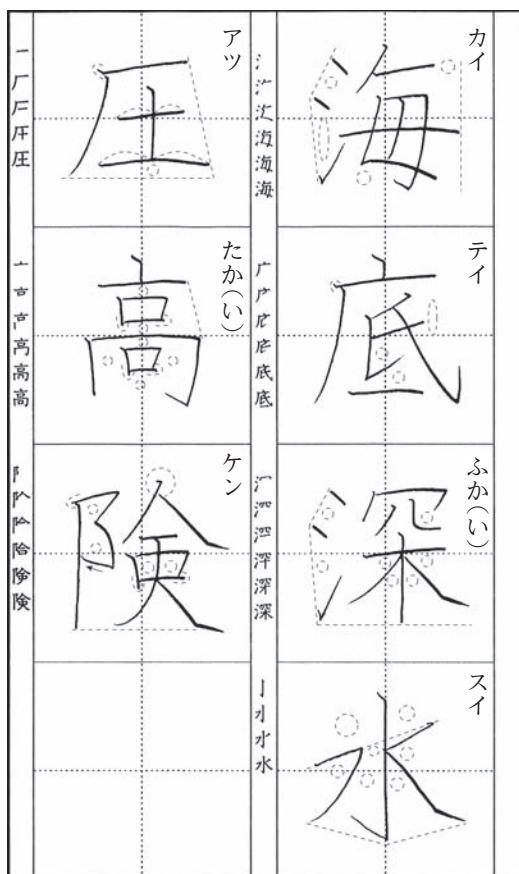
小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上 岡嶋桂川書

小
六
年

を	練	球
発	習	技
揮	の	大
す	成	会
る	果	で

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

練習	球
習	技
成	大
果	会

〈用具〉自由(黒色に限る)

中
一
年

生	で	部
日	先	活
を	輩	の
祝	の	仲
う	誕	間

(楷書)

中
二・三
年 (楷書)

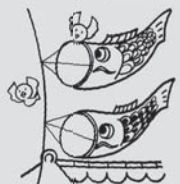
鍵	保	食
は	つ	物
人	重	連
問	要	鎖
だ	な	を

◎お手本はつけペン使用

▼小三年以下の課題

おおすか そいうりゅう 書
大須賀 桑 龍

泳 およ	風 かぜ	こ	色 いろ	青 あお
ぎ	に	い	あ	い
ま	吹 ふ	の	ざ	大 おお
す	か	ぼ	や	空 ぞら
	れ	り	か	を
	て	が	な	



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 5月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

ふく おか しゅう せん 書
福 岡 舟 泉

見 けん	生 せい	楽 がっ	学 がっ	来 らい
学 がく	産 さん	器 き	校 こう	週 しゅう
に	工 こう	の	近 きん	の
行 い	程 てい	工 こう	辺 べん	木 もく
き	を	場 じょう	に	曜 よう
ます		へ	あ	日 び
			る	は



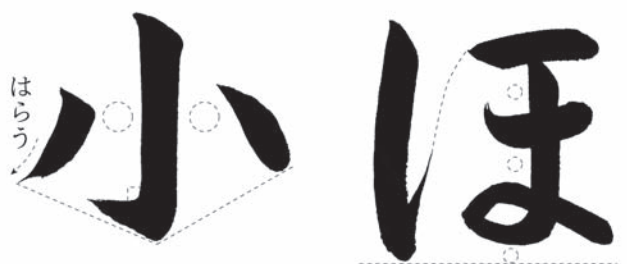
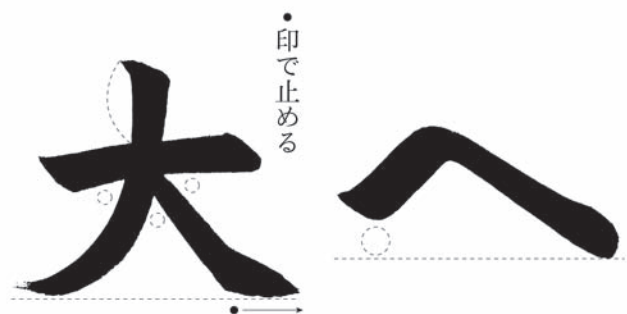
◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年
玉樹小
華書





小三、小五年
水野香竹書

中二・三

連鎖

小六

球技

小六・中二・三年

奥村暢之書

間

球

連

技

鎖

仲

中一

仲間